



《将来に向けた取組方針》

大成建設は、環境技術の向上と適用により、バリューチェーン全体で、2050年環境目標に掲げる「持続可能な環境配慮型社会の実現」にグループ一体となって取り組めます。

建設工事では、常に自然を含む周辺環境に大きな影響を与える懸念があります。計画段階では環境関係法令を含むリスクや、機会となる付加価値を抽出し、竣工後の運営・管理の支援まで生物多様性への配慮と豊かな環境づくりのためのソリューションをお客様に提供しています。自然資本の価値を適正に評価し、インフラ整備や建築物に活かし、自然を保全・再生することで自然共生社会の実現に貢献していきます。

〈技術開発〉

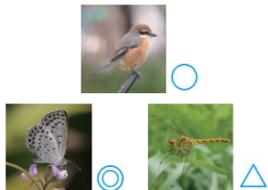
生物多様性の向上に貢献する計画ツールの開発 - コンシェルジュシリーズ -

いきものコンシェルジュ

森コンシェルジュ

計画地の住所や条件を入力

誘致可能な動物を抽出



緑地タイプと
適正植物を選定



どちらも
対話形式で
計画可能

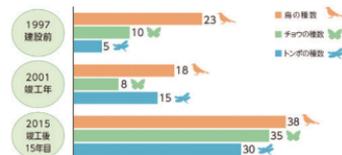
- 誘致期待種（動物）を明確にすることにより、緑地や水辺の最適計画をご提供できます
- 計画地それぞれの環境に適合する植物選定が可能です

〈実施例〉

● 札幌ドーム：

いきものコンシェルジュ

15年のモニタリングで生物種の増加を確認



● 富士山南陵工業団地：

森コンシェルジュ

在来種緑化による自然再生



5 Years



当社グループ理念「人がいきいきとする環境を創造する」のもと、これからも豊かな自然環境の保全に貢献する技術開発と展開を推進して参ります